

豊かな魅力ある地域づくりに活かそう新技術

令和元年 6月20日
国土交通省中部地方整備局
中部技術事務所
防災グループ

大規模災害時の対応力向上を目指し、 災害対策用機械と通信機材を組み合わせた 操作・運用訓練を実施します

～令和元年度 愛知県ブロック災害対策用機械運用力向上訓練を開催します～

1 概要

中部技術事務所では、災害対応時に活用することを念頭に、保有する災害対策用機械の操作技術・運用技術の習得・向上を目的として、愛知県内の国土交通省職員及び災害時の協力協定を締結している業団体の会員（災害協定業者）を対象に、災害対策本部車や排水ポンプ車をはじめとした災害対策用機械の操作・運用訓練を開催します。今回167名（国土交通省職員11名、災害協定業者156名）が参加する予定です。

また、切迫する南海トラフ巨大地震が発生した際には、全国から国土交通省TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）が被災地に集結し、被災状況調査、道路啓開、排水ポンプ車による浸水排除等、救助・救出活動の支援や、一日も早い復旧に向けた災害対応を迅速に行うこととしています。多くの部隊が進出し、効果的な活動を行う際に、地域の進出拠点等での情報共有・発信が非常に大きな役割を果たします。

災害対策本部車の訓練においては、進出拠点等での情報収集・発信をより効率的に行い、大規模災害時のTEC-FORCE部隊の運用を円滑に行うために、機動性が高く安定した通信機器の導入を進めており、今回初めてこれらの機器を使った移動通信機器運用訓練を実施します。

2 内容等

日時：令和元年 6月26日（水）（災害協定業者・国土交通省職員対象）
6月27日（木）（災害協定業者対象）
両日とも10時30分～15時45分
（移動通信機器運用訓練は6月26日 13時～15時45分）
場所：中部技術事務所構内
内容：1）中部技術事務所保有の災害対策用機械の操作訓練
・災害対策用機械の概要説明
・排水ポンプ車、照明車、無人化施工バックホウ、
衛星通信車・小型画像伝送装置（Ku-SAT）の操作訓練
・目測・ロープワーク訓練
・対策本部車、待機支援車の展示説明
2）移動通信機器運用訓練
・可搬型長距離対向通信システム（i-RAS（アイラス））
・公共BB（公共ブロードバンド移動通信システム）
・ヘリサット

報道取材：操作訓練の全般において取材が可能です。

3 資料：添付資料

4 配布先：中部地方整備局 記者クラブ

5 問合せ先：1）国土交通省 中部地方整備局 中部技術事務所

副所長 石川 裕一 TEL:052-723-5701（代表）
技術情報管理官 渡辺 裕昭 FAX:052-723-5707
2）国土交通省 中部地方整備局 防災グループ（災害マネジメント室）
室長 中川 哲也 TEL:052-953-8357

6 その他：災害が発生もしくは防災体制時には訓練を中止します。 取材を希望される方は事前に問合せ先までご連絡をお願いします。

令和元年度 愛知県ブロック災害対策用機械操作訓練

開催場所 : 国土交通省 中部技術事務所
名古屋市東区大幸南1丁目1番15号

<スケジュール(予定)(2日間とも同じ)>

- | | | |
|---------|----------------------------------|--|
| 1. 開会挨拶 | 10:30~10:40 | 中部技術事務所庁舎2F会議室 |
| 2. 座 学 | 10:40~11:10 | 中部技術事務所庁舎2F会議室 |
| 3. 操作訓練 | 11:10~15:35
(12:00~13:00 昼休み) | 中部技術事務所構内
訓練参加者が班に分かれて、災害対策用機械の操作を行います。 |
| 4. 閉会挨拶 | 15:35~15:45 | 中部技術事務所庁舎2F会議室 |

令和元年度

愛知県ブロック

災害対策用機械 操作訓練



国土交通省所有
災害対策用機械の操作

国土交通省では照明車や排水ポンプ車を代表する災害対策用機械を多数保有しており、国土交通省管理施設はもとより、自治体での災害対応にも派遣を行い多く活躍しています。

一旦災害が発生すれば、被災地において迅速かつ確実に災害対策機械の操作が出来ることはもちろんのこと、被災地での応急対策は危険を伴う作業となることから、常日頃の操作訓練が重要となります。本訓練は、災害対策機械の操作技術の習得・向上を目的に実施するものです。

今回、愛知県内の国土交通省職員および災害時協力業者を対象とした「災害対策用機械操作訓練」を中部技術事務所構内で開催します。

講習会内容

操作訓練スケジュール

令和元年6月26日	国土交通省職員対象 災害協力業者対象
6月27日	災害協力業者対象
(1)開会・挨拶	10:30～10:40
(2)事前説明	10:40～11:10
(3)操作訓練	11:10～12:00 13:00～15:30
(4)閉会	15:45頃予定

参加予定車両等

- ・排水ポンプ車(30m³/min級)
- ・照明車(25kVA 10m)
- ・照明車(25kVA 20m)
- ・対策本部車(車両拡幅式)
- ・待機支援車
- ・無人化施工バックホウ
- ・投下型水位計

基礎知識の習得(事前説明)

災害対策用機械の概要及び基本的な操作方法等を説明します。



排水ポンプ車操作訓練

排水ポンプ車の設置方法及び操作方法を説明します。
また、訓練水槽にて実際に排水運転を実施します。



照明車操作訓練

照明車の設置方法及び操作方法を説明します。
設置後は実際にライトの点灯も実施します。



目測・ロープワーク

災害対応時に役立つ目測及びロープワークを体験出来ます。



無人化施工バックホウ操作訓練

13ブロックに分解可能で、土砂ダムなど交通手段の無い被災地にヘリコプターで輸送可能な無人化施工バックホウの遠隔操作を行います。



対策本部車・待機支援車の展示説明

被災現場で指揮命令など災害対応を行う車両の展示説明を行います。



操 作 訓 練 内 容

投下型水位計の展示説明

ヘリコプターから投下して土砂ダム等の水位を計測する投下型水位計の展示説明を行います。



当日の服装等について

当日の服装は「作業着、ヘルメット、軍手」の用意をお願いします。また、雨天時用にカッパの用意をお願いします。

継続学習制度(CPDS) 認定講習会

当講習会は、継続学習制度(CPDS)認定講習会です。
希望者には、受講証明書をお渡しします。



2)移動通信機器運用訓練 概要

